

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(~~認知症対応型共同生活介護事業所~~ ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	(有)メティス グループホーム あさひの杜	評価実施年月日	平成 20年 3月
評価実施構成員氏名	1、事業主・管理者 小松 利彦 2、計画作成担当者 工藤 正子 3、介護職員 本保 弓 架 4、 " 得地 麻美 5、 " 伊藤 真由美	6、介護職員 廣瀬 尚子 7、 " 石坂 優子	
記録者氏名	小松 利彦	記録年月日	平成 20年 3月 23日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所独自の理念を作り上げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	廊下や居間に掲示し職員全体で共有している。	○ 実践に向け職員一丸となって取り組んでいく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	理念を廊下等に掲示し、ご家族様や来客の目に触れやすいようにして、機会あるごとに話をしている。地域の人への浸透はできていない。	○ 地域の人に理解してもらおうよう、まず町内会報等を利用する活動をしたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所の人との交流は、日常的にある。ホームへの援助品等もある。	○ さらに積極的に交流していく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	隣接する公共機関での参加をしている。老人会、町内会、催物等にも。	○ できる限り参加していく。
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	左記のレベルまで行ってない。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価を活かして、具体的な改善に取り組んでいる。	○ 改善できることは、積極的に取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年6回実施。意見や助言をもらい実行している。	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市の管理者会議に参加し、又、包括支援センターに訪問し交流を図って取り組んでいる。	○ さらに積極的に参加する。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	制度についての認識はあるが、勉強不足の感がある。	○ 学ぶ機会に参加し、活用できるようにする。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	見過ごされることがないように、注意を払い防止に努めている。	○ 職員共々、説明会や研修会に参加し理解を深め、精度をアップしていきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行い、理解、納得を図っている。	説明時には、気軽に質問してもらうよう心がけ配慮している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>1、</p> <p>話しやすい環境を作ったり、態度で速やかに察知できるよう観察している。職員は共有し、解決策を検討している。</p>	○	職員間で連携をとり観察していきたい。
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>あさひの杜便り等にて、報告をしている。金銭管理は、機会あるごとに閲覧、記帳、押印をもらっている。又、領収証等は各家族様に送付している。</p>	○	客に報告し、又、相談する機会を多く持ちたい。
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置して反映させている。又、意見書だけでなく、家族とコミュニケーションを図り 気軽に言えるようにして、それを共有して反映させている。</p>	○	さらにコミュニケーションを図っていきたい。
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的に職員の意見や提案を取り入れ実行している。</p>		言いやすい環境にあるので継続していきたい。
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>状況に応じて確保や調整に努めている。</p>	○	対応が出来ているので継続努力。
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>離職があるが、働きやすい職場になるような環境作りを心がけている。</p>	○	個人一人一人が働きやすい職場になるよう努めてい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	実践者研修には積極的に参加している。その他の外部での講習が出来ていない。	○	職員側の意識の向上を図り、研修参加を積極的に推進させる。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	区及び、私的交流会に参加している。又、他グループホームの職員と交流、意見交換を行っている。	○	積極的に継続していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	意見を言いやすい環境作りを心がけている。	○	ストレスが溜まらない環境作りを心がけていく。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	日々の努力や実績を評価し、各自が向上心を持って働けるよう努めている。	○	継続していく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に出来る限り、お話し伺い困っている事、不安な事、求めている事を傾聴し早期に解決できるよう心がけている。	○	継続していく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	数多く傾聴し早期に、解決できるよう心がけている。	○	継続していく。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	いろんなサービスの可能性を探り、紹介等を行っている。	○	さらに、いろんな立場の人との交流、連携をとり対応していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	今までの環境を尊重し、変化に混乱しないよう心がけている。	○	家族とも数多く連絡しあい、支援していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に作業したり教えてもらう中で、共有できる関係作りを心がけている。	○	出来る限り共有していきたい。
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人と家族が一丸となって、職員も支えていけるよう心がけている。	○	共有していく対応をしたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	本人の家族に対する思いを傾聴し、良い関係を築いていけるよう支援している。	○	継続していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	人と場所へは行けないが、手紙や電話での支援は努めている。	○	電話デーとか、手紙デーを設けていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士が話し合える場を作っており、共有して対応している。	○	会話や行動を観察し、速やかに対応していきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	断ち切らない付き合いが出来ている。	○	さらに交流を深めていきたい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り本人本位に努力している。	○	継続していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族から傾聴し、職員と共有し把握に努めている。	○	出来る限り傾聴し共有する記録を充実させたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	生活過ごし方は、把握出来ているが、心身状態は見逃しがちがある。把握できるよう努力している。	○	主に、心身状態の観察を共有していきたい。

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	日々の観察、意見、アイデアを反映した介護計画を作成している。		継続。
----	--	--------------------------------	--	-----

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間に応じて見直しを行っているが、見直す前に状況が変れば、その都度変更している。	○	その都度変更していく。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は記録に残されており、共有している。実践は見逃しがあるが、見逃しに活かしている。	○	実践で見逃しのないようにしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	その都度、要望や状態において柔軟な支援をしている。	○	要望に応じられるよう体制を整えていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	理・美容、スーパー等では認知されている。ボランティアによる歌とかマジックとかで交流がある。	○	輪を広げていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他施設・相談員さんと連絡は取り合っている。	○	輪を広げサービスの支援の向上を図っていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	積極的に包括支援センター様を利用し、相談に乗ってもらっている。	○	ケアマネージメントの取り組みを計画している。向上させたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	十分な対応は出来ている。かかりつけ医の熱心な交わりがあり、支援は出来ている。	○	今後も精度をあげていきたい。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医との交わりは無いが、かかりつけ医との関係は良好で支援は出来ている。	○	さらに、本人、家族、医師と精度を築き上げ支援していきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	すべて医師中心に健康管理の体制をしており、介護職ではあるが支援している。	○	看護師採用を考慮中。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	情報交換や交流があり即、対応出来るよう整えている。	○	継続。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化や終末期に向けての話し合いは、家族としているが、主治医との連携の仲で行うという方向で家族は結論しており、その中で共有しようと言う形で進んでいる。	○	継続
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。ある	話し合いの中では、構想があるが現在は主治医と家族意向である。	○	勉強や研修、実践ホームの状況を傾聴し共有できる体制をとりたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住み替え時のダメージは職員が認識しており十分な情報交換を行っている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>損ねるような言葉かけや、対応はしていない。常に損なわない事を心掛けにして接している。</p>	○	<p>利用者様の立場に立ち、尊重した対応が出来るように心掛ける。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日々の会話から、一人一人の思いを汲み取り察知し働きかけ、出来るだけ自己決定して頂けるよう機会作りをし、支援している。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人一人の希望を大切に支援しているが、出来ていない時もある。</p>	○	<p>職員全員が心掛け対応して行くようにする。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>その人らしい、望むように対応している。</p>	○	<p>継続</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>準備、片付け、又、出来ることに差はあるが、全員で行っている。食事も本人ベースで食べさせている。</p>	○	<p>継続</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	好みの物を状況に合わせて行っている。タバコ、酒類は一定の制限を設けている。	○	傾聴し楽しめるよう支援していきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し支援している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的には週2回(月、金)であるが、状況に応じ毎日の体制をとって支援している。	○	継続
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	本人中心の休息、安眠をとっている。	○	習慣を検証しつつ、良く休息、安眠出来るよう支援していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの得意な事、喜び事を生活の中に取り入れている。	○	継続
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分でお金を管理したりする人は一人もいない。	○	買い物等の機会です所持、支払い行動を促し支援したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	一人ひとりの、その日の希望に沿って出掛けるのは出来ない事もあるが、出来るだけ外出できるよう支援している。	○	出来る限り外出の支援をしていく。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	限られた所には、年2～3回行っているが入居者様の状態で少なくなってきている。	○	個別に外出する機会を増やしたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙等の支援はしているが、出来る方は少ない。	○	メッセージを送る(メモとか絵葉書等)支援をしたい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家庭的な雰囲気を大切に居心地よく過ごしてもらうよう心掛けている。	○	継続
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強不足、理解不足はあるが、絶対的に拘束をしないケアは統一されている。	○	勉強及び研修を重ねて精度を高めていきたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵は一切かけてない。	○	今後も同様継続。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に安全に配慮している。職員の目配り、行動動作の連携は声を掛け合ったりして配慮している。	○	今後も注意を払い見守り強化を継続していく。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの性格や状態から、行動を予測し事故につながらないように危険防止の取り組みをしている。	○	見守り観察を強化し一人ひとりの行動パターンを予測し、対応していく。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	予め事故防止対策を検討したり、事故が発生した場合も、原因、対策、結果を検討し事故防止に取り組んでいる。	○	さらに一人ひとりの状態に応じた事故防止策を検討していく。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	訓練は受けているが、定期的に行われてなく職員によって経験に差が生じている。	○	定期的に訓練を実施したい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練は行っているが、利用者が方法を身につけているという所までは達してない。幸い地域の避難所(町内会長宅が隣接)が固定してあり協力が得られている。	○	訓練を多くし又、町内会の協力を得て安全策を強化したい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	家族とは面会時と電話で相談報告しており、抑圧感のない暮らしが出来るよう心掛けている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	医師間とは常に連絡し合える状態であり又、月2回の往診時には状態報告は詳細に報告し指示を頂いている。	○	継続していく。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は理解しており又、薬の管理、確認、指示は引継ぎ時チェック体制をとっている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。	主に水分量のチェックは毎日実行しており、便秘等の人はいない。	○	食物等には工夫していく。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	少人数故、毎食後口腔ケア及び歯みがき及びブラッシングは欠かさず実行している。	○	継続していく。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	外部管理栄養士さんにチェックしてもらう。習慣を取り入れたメニューとまでは、今一歩の出来である。	○	栄養のバランスメニューを研鑽し個別対応まで支援したい。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎朝の掃除、及び食器等の消毒は気をつけ実行している。インフルエンザは同意のうえ 毎年実施している。	○	感染症についての知識を深めたい。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	手洗いの徹底(当ホームはペーパータオル)、調理器具やポットの消毒は頻繁に実施している。食材の使用と管理は冷蔵庫分散し、日付ごとの容器保管をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	元々、一軒屋であり、庭有り、畑有り、花有り近隣の方々が安心して出入り出来るようにしている。	○	今後も、花、庭、作物作りを実行する。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭的雰囲気大切に季節感を取り入れ居心地良く過ごしてもらえるよう工夫心掛けています。	○	継続
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	思い思いに生活しているが、一人になれたりとの空間はなく居室だけ。	○	思い思いを過ごすことの出来る居室の工夫をしたい。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた品々を利用してもらって居心地良く過ごせるよう支援している。	○	今後も積極的に使い慣れた物の支援をそていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気には配慮しており、各部屋には温度計を設置している。元々、保温効果の良い一軒屋作りでもある。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すり等も各所に設置している。段差、階段もあるので、歩行不安定な方は、見守りし元来の身体能力を引き出すように支援している。	○	出来る限り普段通りの生活において身体能力低下の防止に取り組み支援したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>混乱や失敗が多くなって来ているが、一緒に事を運ぶことによって自力で生活できるように支援している。</p>	<p>○</p>	<p>継続。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>元々、一軒屋であり、外での活動を多くするようにしており、庭も畑も玄関も楽しめるように活かしている。</p>	<p>○</p>	<p>積極的に行いたい。</p>

V. サービスの成果に関する項目			
	項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	① 会話の中から掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	① 主に食事の時はゆったりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	① 一人ひとりのペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	① 一緒にやれる喜び等で表情、姿がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	② 行きたい所ではないが、外へ出れる喜びがある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	① 家族にも共感を得ている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	① 常に柔軟にしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	① よく出来ていると判断。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	② 理念、信条不足の人も居り。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ① 家庭的な雰囲気を大切にしたい生活を、皆と楽しくゆったり静かに暮らしている。
- ② 認知症グループホームの原点を守り(5名)、広くアピールする理念を持っている。